

2023年1月18日

## 戦没者遺骨問題・ガマフヤーと国との意見交換会

場所 衆議院第2議員会館 1階多目的会議室

時間 1時開場

1部 1時30分～3時 厚労省・外務省意見交換会

2部 3時15分～4時30分 防衛省意見交換会

### 意見交換会の趣旨

1部では、厚労省に対して戦没者遺骨収集推進法の延長の展望について意見交換します。厚労省が戦没者遺骨鑑定センター(DNA分析施設)を設置したとしていますが、その現状が十分なものか確認します。また安定同位体比検査を鑑定の検査として本格導入することを求めます。9月に行われたDPA科学サミットでは安定同位体の研究議論が行われたにもかかわらず日本から研究者を参加させていないことが問題になっています。世界基準では、どこの地域で育ったかを判断できる、安価で早い安定同位体検査をまず初めの検査として行うことが常識となっています。日本でも沖縄で古墓遺骨と戦没者の遺骨を分類するためにすでに実用化しています。にもかかわらず、厚労省は鑑定技術としては確立されていないと主張しています。4人に1人が韓国・朝鮮からの戦没者であるタラワ島の安定同位体検査についてもすると言いながら一向に検査を行いません。科学サミットへの安定同位体の科学者を参加させなかったことも含めこの検査技術を推進したくない意図があるとしか言えない状況です。日本の鑑定は岐路に立っています。

外務省に対しては韓国人遺族の遺骨返還・事業参加について早期に実現するよう3年ぶりに韓国遺族が対面で参加し訴えます。日本政府が植民地支配を反省にするという立場に立つならば、直ちに韓国のご遺族の声を聞くべきです。

2部では、沖縄南部土砂問題について南風原に続き糸満で11月26日に行われた戦没者遺族公聴会の意見を伝えます。防衛省は8月5日の意見交換会では「ご遺族の意見を聴く予定はない」と、南部遺骨土砂の当事者であるご遺族を無視する問題発言をしました。遺骨は防衛省のものではありません。ご遺族の意見を聴く場を持つように迫ります。また、遊休化している那覇軍港の返還を求める沖縄県民の声に対して、浦添の西海岸の埋め立て新軍港建設が行われようとしています。辺野古基地建設への南部土砂使用計画を撤回しない、遺族の声は聞く予定がないと言いはる防衛省が、浦添西海岸の埋め立てに南部遺骨土砂を使用しようとするのは目に見えています。防衛省に対し、南部の戦没者の血の染み込んだ遺骨土砂を使い、沖縄県民共有の財産である美しい海を破壊し、戦争に接近するこの浦添西海岸の埋め立てに断固反対の意思を示します。

### 連絡先

具志堅隆松 沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー 090-3796-3132

上田慶司 戦没者遺骨を家族の元へ連絡会 090-2062-5695